



# 捕獲事件記録

書記	檢察官	擔任評定官	拿捕船名			受理年月日	事件番號
			龍田	稲内	稲田	昭和十七年十月十三日	第五六三號
抗議期間満了日	終局年月日	訴願期間満了日	船長	ラレタ	拿捕セ	及指揮官	佐世保捕獲審檢所
昭和十八年四月九日	昭和十八年三月十七日	昭和十八年三月八日				九江警備隊附 梅軍陸備大尉 鬼頭竹二郎	

四月十日確定

佐捕第十九號



昭和七年二月五日  
 佐捕甲第九四七號  
 ヲ以テ檢察官ニ通知濟  
 昭和七年二月五日  
 佐捕乙第九四八號  
 ヲ以テ事件受理ノ件内關ニ報告濟  
 昭和十八年三月十七日ヨリ多分署理ニテ捕殺ト指定同年四月十日確定

昭和十八年四月十日  
 佐捕乙第三八八號  
 ヲ以テ於定、仲、内、内、根、告、病  
 昭和十八年四月十日修定係録有府司合長及之指定執以方病記  
 可以ニ於定執以、仲、内、内、内、根、告、病

昭和十八年四月十日  
 佐捕乙第三七七號

佐世保捕獲審檢所

文書ノ標目	丁數	備考
送付書卷本	一	
船如拿捕調書	二	
船如至船思定書	三	
海軍大臣請願書上取取書卷本	四	
海軍大臣請願書下取取書卷本	七	
調書	九	
意見書	〇	
公六揚州船担(友社及日本タイムス)	一	
申 請書(多分署理方)	二	
於定書(多分署理方)	三	
於定執以方病記	四	
於定確定方病揚州方病記	五	

目錄

佐世保捕獲審檢所



昭和七年三月五日  
 佐捕 第九四七號  
 (担任評定及指名ノ件)  
 ヲ以テ檢察官ニ通知濟

昭和七年三月五日  
 佐捕 第九四八號  
 ヲ以テ事件受理ノ件内請ニ報告濟  
 昭和十八年三月十七日ヨリ多ク審理ニ捕殺ト指定同年四月十日確定

昭和八年四月十四日

佐捕 乙第三八八號  
 昭和十八年四月十日ヨリ多ク係争有リ合長及之指定執行方所記  
 昭和十八年四月十日ヨリ多ク係争有リ合長及之指定執行方所記

昭和八年四月十四日  
 佐捕 乙第三七七號

昭和十八年四月十日ヨリ多ク係争有リ合長及之指定執行方所記  
 昭和十八年四月十日ヨリ多ク係争有リ合長及之指定執行方所記

文書ノ標目	丁數	備考
佐世保海軍審檢所		
送致書卷十本	一	
船如拿捕訓書	二	
船如之稱思定書	三	
海軍大臣諸條上成三指取書卷十本	四	
海軍大臣訓令諸條上成三指取書卷十本	七	
訓書	九	
意見書	一〇	
公共揚載担(友社及日本タイラス)	一一	
申渡書(多ク審理方)	一二	
指定書(多ク審理方)	一三	
指定執照(多ク審理方)	一四	
指定執照(多ク審理方)	一五	

目録

佐世保海軍審檢所







船舶拿捕ニ關スル調書  
船名 内火 暖 太古  
國籍 英國

一 昭和十六年十二月八日九江港外洋油棧ニ於テ海軍豫備大尉鬼頭竹次郎(本官)ハ艦隊司令長官ノ命ヲ受ケタル九江方面警戒隊指揮官海軍大佐猪瀬正盛ノ命ニ依リ前記船舶ヲ拿捕シタル事  
ニ本官ハ前記船舶ニ乘員載貨一切存在セザルコトヲ確認セリ

昭和十六年十二月八日

九江警戒備隊附

捕獲隊指揮官海軍豫備大尉鬼頭竹次郎



新嘉坡海軍大尉鬼頭竹次郎

爪哇海軍大尉

昭和十六年十二月八日

海軍

本官は前記の如く本員は海軍大尉に在りて在りて  
命に依りて前記の如く本員は海軍大尉に在りて在りて  
受けたる命令に依りて前記の如く本員は海軍大尉に在りて在りて  
新嘉坡海軍大尉鬼頭竹次郎(本官)は前記の如く本員は海軍大尉に在りて在りて  
昭和十六年十二月八日の如く本員は海軍大尉に在りて在りて

海軍大尉 鬼頭竹次郎

海軍大尉 鬼頭竹次郎

認定書

内火艇 太古

右船舶ハ捕獲當時ノ状況及英國船温州號船長  
ジョン、エツ子、マクラレン、ノ言ニ依リ英國船ナルコトヲ認定  
ス

昭和十六年十二月八日

九江警備隊附

捕獲隊指揮官海軍少佐 鬼頭竹次郎



大東亞戰爭ノ經過ニ関スル  
 海軍大佐正盛ノ功績  
 昭和十六年十一月八日

大東亞戰爭ノ經過ニ関スル  
 海軍大佐正盛ノ功績  
 昭和十六年十一月八日

大東亞戰爭ノ經過ニ関スル  
 海軍大佐正盛ノ功績  
 昭和十六年十一月八日

藝 取 書

事件番號自第五五七號至第五六四號捕獲事件ニ付昭和十七年十二月二十三日九江方面特別根據地隊ニ於テ評定官稻田繁ニ對シ海軍大佐猪瀬正盛ノ爲シタル申供左ノ如シ

- 一 氏名ハ 猪瀬正盛
- 一 年齢ハ 五十三歳
- 一 職業ハ 九江方面特別根據地隊司令、海軍大佐
- 一 國籍ハ 日本
- 一 住所ハ 九江方面特別根據地隊内
- 一 本官ハ昭和十六年八月十一日九江警備隊司令ニ補セラレ、同月十六日着任シ、爾來引續キ勤務シテ居リマスガ、九江警備隊ハ現在九江方面特別根據地隊トナツテ居ルノデアリマス
- 一 本官ハ第一遣支隊司令長官ノ命ニ依リ、臨時編成ニ係ル九江方面警戒隊指揮官トシテ、大東亞戰爭ノ開戦日タル昭和十六年十二月八日敵國船ニ對スル臨檢拿捕ノ指揮ヲ爲シ、當時九江港外、洋



油棧ニ繋留中ナリシ、亞細亞石油公司及美孚公司所有ニ係ル米、英兩國國籍船八隻ノ拿捕ヲ爲サシメタコトガアリマス

一 九江方面在泊ノ敵國船ノ臨檢拿捕ニ付テハ當時九江警備隊附ナリシ海軍豫備大尉鬼頭竹次郎ガ、其ノ實際ノ箇ニ當ツタノデアリマス

同大尉ハ九江方面在泊船船ノ國籍及動靜ニ付豫メ調査シテ居タノデアリマシテ、前述ノ如ク第一遣支艦隊司令長官ノ命ニ依ル本官ノ命ヲ承ケ、昭和十六年十二月八日未明ヨリ行動ヲ起シ、同日午前八時頃當時九江港外ノ洋油棧ニ繋留中ニシテ、前日迄ノ調査ノ結果及英國汽船温州號船長「ジョン・エツチ・マクラレン」ノ言等ニ依リ米、英國國籍ト認メラルル船船ヲ臨檢ノ上拿捕シタノデアリマシテ、其ノ船名、船籍國籍、船種、噸數、所有者等ハ次ノ通デアリマス

船名	船籍	船種	噸數	所有者
----	----	----	----	-----

タオキアン (Taokiang)	英國	油槽船	七五〇〇	英國亞細亞石油公司
ナンキアン (Nankiang)	同	同	七五〇〇	同
スンキアン (Hsunkiang)	同	同	一七〇〇〇	同
ガーゴイル (Gargoyle)	米國	内火艇	一四〇〇	米國美孚公司
福和 (Fuho)	英國	同	不明 (噸數不明)	英國亞細亞石油公司
江西 (Kiangsi)	同	同	一五〇〇	同
太古 (Taikoo)	同	同	一〇〇〇	同
アイシー第七號 (I.C. No. 7)	英國	運貨船	二〇〇〇〇	同

一 前述ノ如ク臨檢拿捕スル際之等ノ船船ハ何レモ九江港外ノ洋油棧ニ繋留シテ居タノデアリマシテ、當時何レモ國旗ハ掲揚シテ居リマセヌデシタガ、舷側又ハ船船ノ上部ニ各其ノ船籍國籍タル米國又ハ英國ノ國際標識ヲ附シテ居マシタノデ、其ノ標識ノミニ依ツ





テモ國籍ハ直ニ判ツタノデアリマス

一 之等ノ船舶ハ臨檢拿捕ノ際船舶書類等ハナク、又搭載貨物モ全然アリマセヌデシタ

船舶書類ハ狀勢ノ緊迫ニ依リ豫メ陸揚ゲシテ、燒却シタノデハナイカト思ヒマス

一 當時之等ノ船舶ニハ船長ヤ事務長等ノ責任アル船員ハ居ラズ、同時ニ拿捕シタ英國汽船温州號船長一ジョン・エウチ・マクラレンニ付之等船舶ニ關スル前述ノ事項等ヲ確メタノデアリマスガ、其ノ供述番ハ作成シテアリマセヌ。同船長ハ當地ニハ居ラズ或ハ既ニ本國ニ引揚ゲタノデハナイカト思ヒマス

而シテ之等船舶所有者タル亞細亞石油公司及美孚公司ノ責任アル社員ヤ職員等ハ當地ニハ現在一人モ居ラズ其ノ所在モ判リマセヌ或ハ本國ニ引揚ゲタノデハナイカト思ヒマス

一 前述ノ拿捕船舶ハ拿捕手續後支那方面艦隊ノ保管ニ移シ、其ノ後軍關係ヤ民間會社ニ移管又ハ貸下ゲテ夫々使用セラレテ居ルコト



ト思ヒマス

一 當時臨檢拿捕ノ任ニ當ツタ鬼頭豫備大尉ハ佐伯防備隊ニ轉動トナリマシタノデ、現在當隊ニハ居リマセヌ

一 尙前述ノ洋油棧トイフノハ、俗ニ石油棧橋ト稱バレ、九江港ニ極ク近接シテ設ケテアル亞細亞石油公司ト美孚公司用ノ棧橋デアリマシテ、其ノ位置ハ九江港トイフモ差支ナイ位、同港ニ接着シタ揚子江岸デアリマス

右ハ書記之ヲ錄取シ本人ニ質問カセタルニ相違ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官 稻田 壽

佐世保捕獲審檢所書記 龍田 義光

通 事

申 供 者 緒 瀧 正 盛

右附本也(事件番號第五五七號英國汽船捕獲タオキアン號捕獲事件記録



ニ編綴ノ原本ニ依リ之ヲ作成ス

昭和十八年一月七日

佐世保捕獲審檢所書記



新田新考



聴取書

事件番號自第五二〇號至第五六四號自第五一〇號至第五一五號捕獲事件ニ付昭和十七年十二月十八日漢口在勤海軍武官府ニ於テ評定官稻田馨ニ對シ海軍囑託今津榮治ノ爲シタル申供左ノ如シ

- 一 氏名ハ 今津 榮 治
- 一 年齢ハ 六 十 歳
- 一 職業ハ 海軍 囑託
- 一 国籍ハ 日 本
- 一 住所ハ 漢口市日本租界
- 一 私ハ昭和十三年以來漢口在勤海軍武官府ニ勤務シ主トシテ涉外事項ヲ擔當處理シテ居リマス
- 一 私ハ大東亞戰爭ノ開戦日タル昭和十六年十二月八日ノ前後ニ亘リ上司ノ命ヲ及ケ漢口及其ノ附近ニ所在スル敵國又ハ敵性國ノ資産關係及諸權益等ニ付調査シタコトガアリ且平素ノ擔當事項ト相俟テ其ノ當時ニ於ケル在支外國會社ノ国籍内容等ヲ相當詳シク知ツ



ニ編綴ノ原本ニ依リ之ヲ作成ス

昭和十八年一月七日

佐世保福徳寺檢所書記

新田新亮



遺 政 書

事件番號自第五二〇號至第五六四號自第五一〇號至第五一五號捕獲事  
件ニ付昭和十七年十二月十八日漢口在勤海軍武官府ニ於テ評定官稻田  
馨ニ對シ海軍職務令詳察治ノ爲シタル申供左ノ如シ

- 一 氏名ハ 今津 榮造
- 一 年齢ハ 六 十 歳
- 一 職業ハ 海軍 海防
- 一 國籍ハ 日 本
- 一 住所ハ 漢口在勤海軍武官府ニ勤務シ主トシテ涉外事  
務ヲ擔當スルニシテマシ
- 一 私ハ昭和十六年十二月八日ノ前後ニ五ノ  
上司ノ命ニ依リ漢口附近ニ所在スル敵艦又ハ敵性艦ノ資産  
關係及該艦艇ニ付調査シタコトガアリ且平素ノ擔當事項ト相俟  
テ其ノ當時ニ於ケル在支外國會社ノ國籍内容等ヲ相當詳シク知ツ



ニ編綴ノ原本ニ依リ之ヲ作成ス

昭和十八年一月七日

佐世保捕獲審檢所書記



新田新書



取書

事件番號自第五二〇號至第五六四號自第五一〇號至第五一五號捕獲事件ニ付昭和十七年十二月十八日漢口在勤海軍武官府ニ於テ評定官稻田馨ニ對シ海軍囑託今津榮治ノ爲シタル申供左ノ如シ

- 一 氏名ハ 今津 榮 治
- 一 年 齡 ハ 六 十 歳
- 一 職 業 ハ 海 軍 囑 託
- 一 國 籍 ハ 日 本
- 一 住 所 ハ 漢 口 市 日 本 租 界
- 一 私ハ昭和十三年以來漢口在勤海軍武官府ニ勤務シ主トシテ涉外事項ヲ擔當處理シテ居リマス
- 一 私ハ大東亞戰爭ノ開戦日タル昭和十六年十二月八日ノ前後ニ亘リ上司ノ命ヲ奉ケ漢口及其ノ附近ニ所在スル敵國又ハ敵性國ノ資産關係及諸權益等ニ付調査シタコトガアリ且平素ノ擔當事項ト相俟テ其ノ當時ニ於ケル在支外國會社ノ國籍内容等ヲ相當詳シク知ツ



テ居リマス

一 太古洋行トイフノハ華名デ本名「バツターフィールド・アンド・スウアイヤー」 Butterfield & Swire トイヒ英國法ニ基キ設立セラレタル英國籍會社デ本店ハ英國倫敦ニ在リマシテ其ノ東洋ニ於ケル總本部ヲ香港ニ置キ上海、漢口等ニ支店ヲ置イテ居リマシタ

一 亞細亞火油公司 (漢口)

一 亞細亞石油公司 (九江)

一 亞細亞煤油公司 (鎮江)

トイフノハ何レモ「アジアチツク・ベトロリウム・カンパニー」

(North China) Limited ノ華名デアリマシテ本來同一會社デアリマス此ノ會社ハ英國法ニ基キ設立セラレタル英國籍會社デ本店ハ英國倫敦ニ在リ漢口、九江、鎮江等ニ支店ヲ置イテ居タノデ

スガ其ノ支店ニ付テハ所在地ニ依リ少シツツ華文名稱ヲ違ヘテ居

リ前述ノ如ク亞細亞火油公司 (漢口)、亞細亞石油公司 (九江)、亞細亞煤油公司 (鎮江)、トイフモ元來同一會社デアルコトハ相違無イノデアリマス

一 怡和洋行トイフノモ華名デアリマシテ本名「ジャードイン・マデスン・アンド・カンパニー」リミツテッド (Jardine, Matheson & Company Limited) トイヒ英國法ニ基キ設立セラレタル英國籍會社デアリマシテ本店ハ英國倫敦ニ在リ上海、漢口等ニ支店ヲ置イテ居リマシタ

一 美孚公司ハ「スタンダード・ヴァキニウム・オイル・カンパニー」 Standard Vacuum Oil Company ノ華名デアリマシテ此ノ會社ハ英國法ニ基キ設立セラレタル英國籍會社デアリマシテ本店ハ英國紐育ニ在リ上海、漢口、九江等ニ支店ヲ置イテ居リマシタ尙同會社ハ「スタンダード石油會社」ト稱ブコトモアリマス

一 以上四會社ノ職員タル米、英國人等ハ開戰當時頃逃亡シ或ハ本國ニ引揚ゲタリ等シテ現在漢口附近ニハ一人モ殘ツテ居リマセヌ



右ハ審記之ヲ錄取シ本人ニ讀開カセタルニ相違ナキ旨陳述シタルニ依  
 リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

稲田 義光

佐世保捕獲審檢所書記

藤田 義光

通事

若今 津榮 治

右臚本他(事件番號第五二〇號英國汽船靖港捕獲事件記錄ニ編綴ノ原  
 本ニ依リ之ヲ作成ス)

昭和十八年一月七日

佐世保捕獲審檢所書記

新田 義光



竹内檢察官



佐捕第二六號

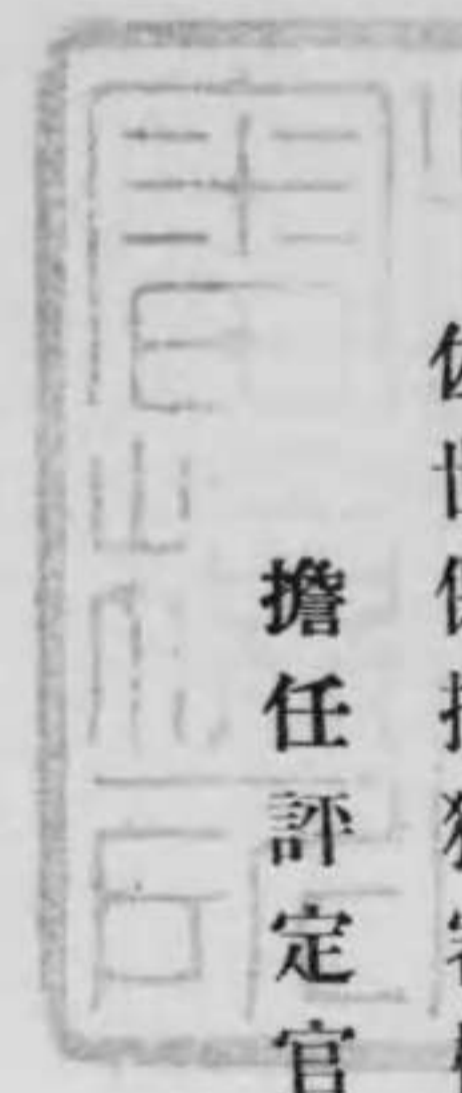
調 査 書

英國內火艇太古號捕獲事件ニ付事實ノ調査ヲ  
 了ヘタルヲ以テ之ガ取調書類ハ拿捕シタル艦船部  
 隊指揮官ノ供述書ト共ニ別冊記録ニ編綴致置候條  
 供述書ノ附屬書類相添ヘ別冊記録及送付候

昭和十八年一月十八日

佐世保捕獲審檢所

担任評定官 新田 義光



佐世保捕獲審檢所檢察官

御 中



右ハ書記之ヲ鑒取シ本人ニ讀開カセタルニ相違ナキ旨陳述シタルニ依  
リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

稲田

佐世保捕獲審檢所書記

龍田

通

事

者

今津

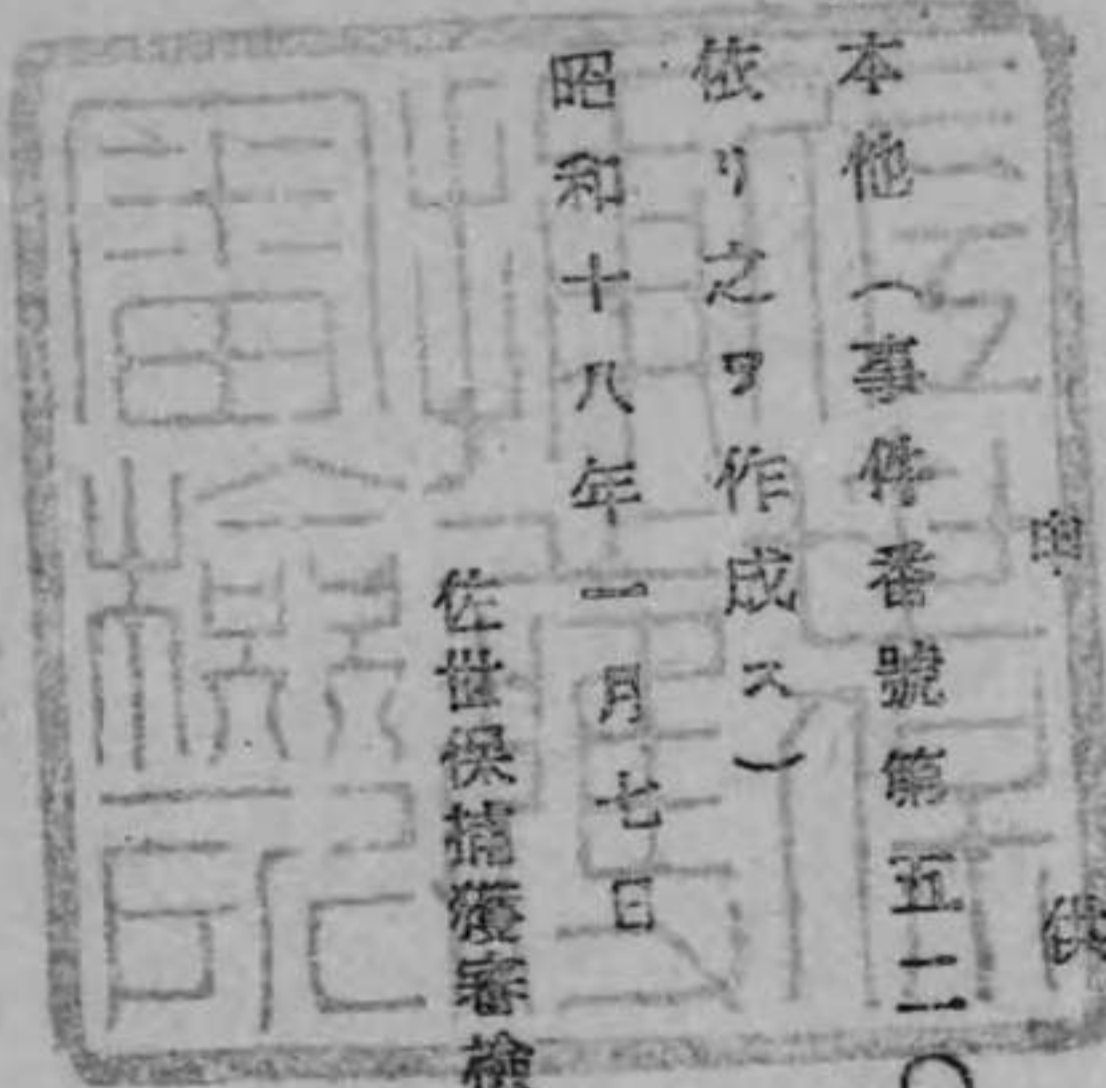
榮治

右膳本他(事件番號第五二〇號英國汽船靖港捕獲事件記録ニ編綴ノ原  
本ニ依リ之ヲ作成ス)

昭和十八年一月七日

佐世保捕獲審檢所書記

新田 義光



竹内檢察官



佐捕乙筆 二六 號

### 調 査 書

英國内火艇太古號捕獲事件ニ付事實ノ調査ヲ  
了ヘタルヲ以テ之ガ取調書類ハ拿捕シタル艦船部  
隊指揮官ノ供述書ト共ニ別冊記録ニ編綴致置候條  
供述書ノ附屬書類相添ヘ別冊記録及送付候

昭和十八年一月十八日

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

新田 義光

佐世保捕獲審檢所檢察官

御 中



佐捕乙第一四六號

第五三三號

意見書

英國内火艇太古御

本件事案ヲ精査致候處右ハ

敵船ナルヲ以テ

捕獲ストノ檢定可相成モノ

ト思料候也

昭和十八年一月二十一日

佐世保捕獲審檢所

檢察官

檢察官

徳永 崇吉  
為 芳久

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

稲田

馨殿



本件ニ付昭和十八年一月二十九日佐捕乙第 二三五 號ヲ以テ内閣印刷局官報部官報係並ニ「<sup>日本</sup>」社ニ左記要領ノ公告掲載方ヲ囑託シタリ

昭和十八年一月二十九日

佐世保捕獲審檢所

記

本件船泊及搭載貨物ハ帝國海軍ノ爲拿捕セラレ當廳ニ於テ審檢ヲ爲スニ依リ利害關係人ハ公告ノ翌日ヨリ起算シテ二十日以内ニ書面ヲ以テ當廳ニ訴願スルコトヲ得

右公告ス

昭和十八年二月六日官報並ニ「<sup>日本</sup>」ニ公告掲載済



申請書

捕獲事件第五六三號

右事件ニ付利害關係人ヨリ法定期間内ニ訴願書ノ提出  
ナキヲ以テ審問ノ手續ヲ爲サス直ニ檢定相成度候也

昭和十八年三月十五日

佐世保捕獲審檢所檢察官

草野豹一郎殿

佐世保捕獲審檢所長官

佐世保捕獲審檢所



三

第 三六 號

報 告 書

本件檢定書謄本ハ昭和十八年三月二十日當廳檢察官  
ニ送付シタリ

昭和十八年三月二十日

佐世保捕獲審檢所書記 黒田幸正



Faint, illegible text on the reverse side of the document, possibly bleed-through or a separate page.



10

佐捕乙第 第七六 號

英國内火艇太古船

右ハ別紙檢定書ノ通捕獲ト檢定相成確定致候條貴廳ニ於テ相當海軍  
官衙ニ執行トシテ引渡相煩度捕獲審檢令第三十條ニ依リ此段及囑託  
候

追而引渡ノ上ハ受領者ヨリ別紙受領書ヲ徴シ回送方御取計相成度  
候

昭和十八年 四月十日 日

佐世保捕獲審檢所  
檢察官

佐世保鎮守府司令長官 南 雲 忠 一 殿

(事件第五六三號)

本件別紙檢定書ハ昭和十八年四月十日  
佐世保捕獲審檢所  
佐世保鎮守府司令長官 南 雲 忠 一 殿  
御取計相成度  
追而引渡ノ上ハ受領者ヨリ別紙受領書ヲ徴シ回送方御取計相成度  
候



出書官印

昭和十八年五月十日

官報ニ付昭和十八年五月十日佐捕乙第四三五號ヲ以テ内閣印  
別局官報部官報係ニ檢定並ニ該檢定ハ昭和十八年四月十日確  
定シタル旨掲載方囑託ヲ爲シタリ

第五六三號

本件ニ付昭和十八年五月十日佐捕乙第四三五號ヲ以テ内閣印  
別局官報部官報係ニ檢定並ニ該檢定ハ昭和十八年四月十日確  
定シタル旨掲載方囑託ヲ爲シタリ

昭和十八年五月十日

佐世保捕總署

昭和十八年五月二十日官報掲載

5



受領書

(事件第五六三號)

英國內火船太古號

右捕獲事件檢定確定ノ上執行トシテ引渡ニ付檢定書ノ謄本ト共ニ受領致候

昭和十八年五月三十一日

海軍省兵備局長係科善四郎

佐世保浦復審檢所

檢察官 德永榮吉 殿



